

## 5 我孫子の自然・環境・歴史・文化への取り組み

### (1) 現況と課題

手賀沼は、長年の浄化対策により水質が大幅に改善しましたが、沼に流入する汚濁負荷量は依然として高く、引き続き対策が必要です。また、手賀沼がもっていた豊かな生態系を復活させるためにも、市民と行政の連携した取り組みが必要です。

手賀沼は我孫子のシンボルであり、今後のまちづくりに欠かせない要素です。この手賀沼周辺の自然や文化、歴史を活かしたまちの魅力向上をめざして、手賀沼文化拠点整備計画\*を推進する必要があります。

南北を手賀沼と利根川にはさまれ、市内には農地や谷津、斜面林など、豊かな自然が残っています。これらの自然の適切な維持管理・保全に努めるとともに、自然環境を守ることの大切さを啓発する必要があります。

地球温暖化\*が急速に進行しており、大気汚染、オゾン層の破壊、酸性雨\*など地球規模での環境問題が発生しています。また、生活様式の変化に伴い、家庭からのごみの量や種類が増加しています。市民一人ひとりが環境に配慮した暮らしを実践する必要があります。

古くから伝わる郷土芸能や風習、祭りがありますが、継承者の高齢化や生活習慣の変化によって保存、継承が課題になっています。

後期旧石器時代から現代に至る史跡や遺跡が市内各所に残っています。これらの歴史的・文化的遺産を適切に保存・整理し、活用していくことが大切です。また、いまだ旧家に残されている古文書類の保存・整理・活用もさらに必要です。

文化・芸術に対する市民の多様なニーズに対応するため、市民参加の機会や情報提供の充実が求められています。自然や風土を活かした新しい文化・芸術活動を支援していく必要があります。

平成18年度末に閉館された市民会館は27年余りにわたり、音楽活動、文化団体活動、小・中学校音楽発表等の、市民の文化・芸術活動及び活動の場としての役割を果たしてきました。今後は、これらの実績をふまえて、引き続き施設整備に向けての検討が必要です。

(2)主要施策

- 1 手賀沼の浄化、生態系復活に向けた学習、啓発活動の推進、市民活動への支援
- 2 手賀沼周辺の自然と歴史・文化遺産の一体的活用の推進と情報発信
- 3 豊かな自然環境を保全活用する学習機会の充実と市民活動への支援
- 4 鳥の博物館と(財)山階鳥類研究所、千葉県手賀沼親水広場(水の館)との連携と協力
- 5 地球温暖化対策など環境保全に関する啓発と市民活動への支援
- 6 ごみの減量化、リサイクルの啓発
- 7 郷土芸能や生活文化・祭りなどの保存・継承・支援
- 8 埋蔵文化財や歴史資料など歴史的・文化的遺産の保存・活用や情報発信の拡充
- 9 文化・芸術活動の育成と情報発信
- 10 文化・芸術活動や発表の場の確保

(3)施策の展開

手賀沼の水質や生態系の状況についての学習機会を充実します。

鳥の博物館と(財)山階鳥類研究所、千葉県手賀沼親水広場(水の館)との連携と協力を進めます。

「手賀沼文化拠点整備計画」の事業を推進します。

豊かな自然環境に関する学習機会を充実します。

地球規模の環境問題や生活環境の保全に関する啓発事業を展開します。

郷土学習に関する学習資料を収集するとともに、その効果的な活用を図ります。

有形・無形の文化財を保存・継承して学習活動・資料に活用します。

市民の文化活動から生まれた文化・芸術の育成・支援します。

新たな大規模ホールを含めた文化施設について、立地や整備手法などの検討を進めます。